

Grammatik
der Deutschen
Gegenwartssprache

四訂

現代ドイツ語
文法

初級編

在間進 著

ま え が き
——学生諸君へ——

本書は、ドイツ語初級文法の教科書として編纂したもので、次の5点に留意してあります。

- ① ドイツ語の文法構造が体系的に学べるように、文法規則を整理し配列する。
- ② 単に暗記するだけでなく、練習によって体得すべき文法規則については必ず練習問題をつける。
- ③ 練習問題は、文の構造がよくわかるようなものにする。
- ④ 中心的な文法規則が明確になるように、例外的・語彙的バリエーションは、「補足」としてまとめ、それぞれの課の最後に述べる。
- ⑤ 例文はドイツ語として自然なものにする。

文法規則をすべて覚えたとしても、その言葉が出来るようにはなりません。文法規則の習得とともに、個々の単語が正しく使用できるようにならなければならないのです。本書に出てくる文・句・語はすべて暗記することをすすめます。

『どれほど劣等、愚鈍であろうとも、いくつかの語を並べ、それによって自分の考えを他人に知らせられないような人間は、ひとりとして存在しない。それに反し、他方、ほかの動物は何物であれ、…これと同じことがなし得ないということは、きわめて注目すべき事実である。』（デカルト）

言語は人間特有の財産です。言語はどういう仕組みになっているのか、ドイツ語は日本語とどう異なるのかなど、さまざまな問題意識をもってドイツ語と取り組むことをすすめます。

1998年 春 在 間 進

*本書は、1998年8月から施行されるドイツ語の「新正書法」に基づいて作成いたしました。ただし、正書法の変更に伴う混乱が生じないように最大限の配慮をするとともに、やむなく生じた、従来の正書法と異なる部分につきましては欄外に注を配し、相違点を明示してあります。

もくじ

	アルファベット	7
	単語の読み方と発音	7
第1課	動詞の人称変化	
	§ 1 人称代名詞 (1)	10
	§ 2 動詞の人称変化, 定形, 不定形	10
	§ 3 sein, haben, werden	11
	§ 4 名詞の性	11
第2課	名詞の格変化	
	§ 1 名詞の格変化 (単数)	14
	§ 2 格の用法	14
	§ 3 語順 (平叙文)	15
第3課	前置詞の格支配	
	§ 1 前置詞の格支配	18
	§ 2 3・4格支配の前置詞	18
	§ 3 前置詞と定冠詞の融合形	19
	§ 4 動詞と前置詞	19
	§ 5 不定詞句	19
第4課	名詞の複数形	
	§ 1 名詞の複数形	22
	§ 2 複数の格変化	22
	§ 3 不規則動詞	23
	§ 4 疑問文	23
第5課	冠詞類の格変化	
	§ 1 冠詞類	26
	§ 2 副文	27
第6課	形容詞の格変化	
	§ 1 形容詞の格変化	30
	§ 2 並列接続詞	31
第7課	再帰的表現	
	§ 1 人称代名詞 (2)	34
	§ 2 物を表わす人称代名詞	34
	§ 3 再帰代名詞	34
	§ 4 再帰動詞	35
第8課	動詞の前つづり	
	§ 1 分離前つづり	38
	§ 2 非分離前つづり	39
	§ 3 分離・非分離前つづり	39
	§ 4 非人称動詞	39

第9課	話法の助動詞	§ 1	話法の助動詞	42
		§ 2	未来時制	43
第10課	動詞の三要形	§ 1	動詞の三要形	46
		§ 2	過去人称変化	47
第11課	完了時制	§ 1	完了の不定詞	50
		§ 2	現在完了形	50
		§ 3	過去完了形, 未来完了形	51
第12課	受動態	§ 1	受動の不定詞	54
		§ 2	受動態の人称変化	54
		§ 3	能動文から受動文へ	55
		§ 4	状態受動	55
第13課	形容詞の比較変化	§ 1	形容詞の比較変化	58
		§ 2	付加語的用法	58
		§ 3	述語的用法	58
		§ 4	副詞的用法(および副詞)	59
		§ 5	否定文—— nicht の語順	59
第14課	関係文	§ 1	定関係代名詞	62
		§ 2	命令形	63
第15課	接続法	§ 1	接続法	66
		§ 2	第1式	66
		§ 3	第2式	66
		§ 4	用法(1) — 間接話法	67
		§ 5	接続法の用法(2) — 非現実話法	68
		§ 6	würde による書き換え	68
		§ 7	接続法の時制	68
		zu 不定詞		72
		数詞		73
		ドイツ語「新正書法」の要点		74
		不規則動詞変化一覧表		82

ドイツ語を話す国々



アルファベット

A a [a:]	I i [i:]	Q q [ku:]	Y y [ýpsilon]
B b [be:]	J j [jot]	R r [εr]	Z z [tsɛt]
C c [tse:]	K k [ka:]	S s [ɛs]	
D d [de:]	L l [ɛl]	T t [te:]	
E e [e:]	M m [ɛm]	U u [u:]	Ä ä [ɛ:]
F f [ɛf]	N n [ɛn]	V v [faʊ]	Ö ö [ø:]
G g [ge:]	O o [o:]	W w [ve:]	Ü ü [y:]
H h [ha:]	P p [pe:]	X x [ɪks]	ß [ɛs-tsét]

単語の読み方と発音

§ 1 原則

- ◆ローマ字を読むように発音する。
- ◆アクセントは第1音節にある。
- ◆アクセントのある母音は1個の子音の前では長く、2個以上の子音の前では短い。

Mann*	男	Name	名前
Film	映画	Kino	映画館
Puppe	人形	gut	よい
Bett	ベッド	geben	与える
Gott	神	rot	赤い

*名詞は頭文字を大文字で書く。

§ 2 ドイツ語特有の読み方と発音

ä	[ɛ][ɛː]	kämmen	髪をとかす	Träne	涙
ö	[œ][øː]	können	…することができる	Öl	油
ü	[y][yː]	Brücke	橋	müde	疲れて
aa	[aː]	Aal	うなぎ		
ee	[eː]	Tee	お茶		
oo	[oː]	Boot	ボート		
ei	[ai]	Eis	氷	frei	自由な
ie	[iː]	Liebe	愛	Brief	手紙
eu	} [ɔy]	Leute	人々	heute	きょう
äu		Fräulein	おねえさん！(飲食店などでの呼びかけとして)		
語末の -er/-r	[ɐ]	Mutter	母	Tür*	戸
*比較：Gras「草」、Arbeit「仕事」、Haar「髪」					
無音の h		fahren	(乗り物で)行く	ohne	…なしで
j	[j]	Japan	日本	Jahr	年
s+母音	[z]	Sonne	太陽	Sofa	ソファ
v	[f]	Vater	父	Vogel	鳥
w	[v]	wo	どこ	wann	いつ
x	[ks]	Examen	試験	Taxi	タクシー
z	[ts]	Zeit	時間	zahlen	支払う
ch					
a, o	} +ch [x]	Nacht	夜	kochen	料理する
u, au		Buch	本	auch	…も
その他の	ch [ç]	Milch	ミルク	nicht	…でない(英 <i>not</i>)
sch	[ʃ]	Schule	学校	Tisch	机

ss, ß [s] Fluss 川 Fuß 足

前の母音が短い場合は ss と、その他の場合（長母音および二重母音の場合）は ß と綴る。
従来の正書法では、前の母音が短く、かつ後ろにも母音を伴う場合にのみ ss と綴る：

Fluß 川 （前の母音が短くても、後ろに母音を伴わない）
essen 食べる（前の母音が短く、かつ後ろに母音を伴う）

chs [ks] Dachs あなぐま sechs 6

pf [pf] Apfel リンゴ

tsch [tʃ] Deutsch ドイツ語

ts } nichts なにも…ない

tz } Katze 猫

ds } abends 晩に

-ng [ŋ] Wohnung 住まい Zeitung 新聞

語頭の sp- [sp] sprechen 話す spielen 遊ぶ

語頭の st- [st] stehen 立っている steigen のぼる

語末の { -b [p] Dieb どろぼう halb 半分の

-d [t] Kind 子供 Hund 犬

-g [k] Tag 日 Zug 列車

語末の -ig [ɪç] ruhig おだやかな

§ 3 注意

◆母音の長短、アクセントの位置には多くの例外があるため、そのつど辞書によって調べる。外来語の発音には特に注意すること。

Amerika [amé:rika] アメリカ Büro [byró:] 事務所

Europa [ɔyró:pa] ヨーロッパ Klavier [klaví:r̥] ピアノ

Problem [problém] 問題 Theater [teá:te] 劇場



第1課 動詞の人称変化

§1 人称代名詞 (1)

◆ (主語になる) 人称代名詞には人称と数に応じて次のような形がある。

	1 人称	2 人称 親称 敬称		3 人称
単数	ich 私	du 君	Sie あなた	er 彼 sie 彼女 es それ
複数	wir 私たち	ihr 君たち	Sie あなた方	sie 彼(彼女)たち それら

◆ ich (英=I) は文中で用いる場合、つねに小文字。

◆ 2 人称における親称は肉親、夫婦、親友などの親密な間柄の人に対して用い、敬称(単複同形、頭文字はつねに大文字で書く)はふつう一般の関係の人に対して用いる。

§2 動詞の人称変化、定形、不定形

◆ 動詞は主語の人称と数に応じて形が異なる、すなわち語尾変化をする。(太字の部分が語尾、イタリックの部分が語幹。意味は「笑う」。)

	単数	複数
1 人 称	ich <i>lache</i>	wir lachen
2 人 称	du lachst	ihr lacht
3 人 称	er } sie } lacht es }	sie lachen

◆ この語尾変化を動詞の人称変化、変化した形を定形と呼ぶ。なお、2 人称敬称の人称変化は3 人称複数の sie に準ずる。

2 人称敬称 Sie **lachen**

3 人称複数 sie **lachen**

◆定形に対して不定形がある。これは英語の原形 (*am, is* などに対する *be* の形) に当たるもので、動詞語幹に *-en* をつけて作る (したがって通常、1人称・3人称の複数と同形、たとえば *lach-en*)。

◆辞書の見出し語などにはこの不定形を用いる。

§3 sein (英 *be*), haben (英 *have*), werden (英 *become*)

◆これらは不規則に変化するが、非常に重要であるため、暗記すること。

不定形 sein			
ich	bin	wir	sind
du	bist	ihr	seid
er	ist	sie	sind

不定形 haben			
ich	habe	wir	haben
du	hast	ihr	habt
er	hat	sie	haben

不定形 werden			
ich	werde	wir	werden
du	wirst	ihr	werdet
er	wird	sie	werden

* 3人称単数は *er* で代用させる。

§4 名詞の性

◆名詞はかならず1つの性をもつ。性には男性 (⇒男性名詞)、女性 (⇒女性名詞)、中性 (⇒中性名詞) の3種類がある。

◆名詞の性に応じて冠詞の形が異なる。

男性名詞 ⇒	der	Der Vater lacht.	父が笑う。
女性名詞 ⇒	die	Die Mutter lacht.	母が笑う。
中性名詞 ⇒	das	Das Kind lacht.	子供が笑う。

定冠詞



練習

1 次の下線部に適当な定形を入れなさい。

- | | | |
|----------------------|-----------|-----------|
| 1. danken
感謝する | ich _____ | wir _____ |
| | du _____ | ihr _____ |
| | er _____ | sie _____ |
| | Sie _____ | Sie _____ |
| 2. rauchen
タバコを吸う | ich _____ | wir _____ |
| | du _____ | ihr _____ |
| | er _____ | sie _____ |
| | Sie _____ | Sie _____ |
| 3. trinken
飲む | ich _____ | wir _____ |
| | du _____ | ihr _____ |
| | er _____ | sie _____ |
| | Sie _____ | Sie _____ |

2 独訳しなさい。

1. 彼は金持ちです。(金持ち=reich)

2. 彼女は金持ちになる。

3. 彼らはお金を持っている。(お金=Geld)

4. 私は時間を持っている(暇がある)。(時間=Zeit)

3 次の名詞の性を辞書で調べ、定冠詞の適当な形を下線部に入れ、訳しなさい。

1. _____ Vater raucht gern.
2. _____ Mutter kocht gut.
3. _____ Kind schwimmt gern.
4. _____ Lehrer lacht laut.
5. _____ Lehrerin weint heftig.
6. _____ Vogel fliegt schnell.
7. _____ Sonne* scheint.
8. _____ Himmel* ist blau.
9. _____ Wetter* wird schön.

* 無生物を表す名詞にも、「性」がある。

補 足

① 人称変化のバリエーション

- ・ 語幹が -t, -d などで終わるものは, du に対する人称語尾が -est, er/ihr に対する人称語尾が -et になる。挿入される e を口調上の e と呼ぶ。

不定形 wart-en

「待つ」

ich warte wir warten

du wartest ihr wartet

er wartet sie warten

類例： antworten「答える」 baden「入浴する」 finden「見つける」

- ・ 語幹が -s, -ss, -ß, -z などで終わるものは, du に対する人称語尾が単なる -t になる。

不定形 reis-en「旅行する」: du reist

類例： küssen「キスをする」 tanzen「おどる」 sitzen「座っている」

② 一部の動詞は、不定形が -en ではなく、-n で終わる。

angeln「釣りをする」

rudern「ボートを漕ぐ」

なお、これらの、特に -eln で終わる動詞の場合、ich では、語尾の e を必ず削除する（口語の場合は -ern も）。また、1・3人称複数で、語尾は -en ではなく、-n になる。

angeln ⇨ ich angle wir/sie angeln

rudern ⇨ ich rud[e]re wir/sie rudern